

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果より

～我孫子第四小学校～

学力について

☆問題 A:主に「知識」に関する問題 問題 B:主に「活用」に関する問題

- 国語 A … 全国・県平均正答率を「上回っている」
国語 B … 全国・県平均正答率を「やや上回っている」
算数 A … 全国・県平均正答率を「やや上回っている」
算数 B … 全国・県平均正答率を「やや上回っている」

国語について

- 『読む』『話す・聞く』『言語』の観点は正答率が高い。
- △『書く』の観点がやや弱い。
- △原稿用紙に感想文や説明文を書くことを難しく感じている。

算数について

- 『数量関係』の観点は、特に正答率が高い。
- 『数と計算』『量と測定』『図形』の観点も正答率が高い。
- 公式やきまりを理解し、よりより解き方を考えようとしている。

自尊意識
生活習慣等

☆児童に対する質問紙調査結果より

教科への関心について

- △国語への関心は全国・県平均よりやや低い。
- △算数への関心は全国・県平均よりやや低い。

生活習慣について

- 基本的な生活習慣が出来ている児童が多い。
- △就寝時刻が遅い児童や不規則な児童がいる。

読書習慣について

- △読書を好まない児童が多い。

家庭学習の習慣について

- 学習塾等で勉強する児童が多い。家で学校の宿題をしている。

その他について

- 自己肯定感が高い児童が多い。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことと認識している。

【調査結果からの今後の取り組みについて】

国語

- 説明文や感想文を書く際には、自分の考えの根拠を明確にして書くようにさせる。その際に、必要に応じて本文の引用を用いるようにさせる。
- 書く際は、目的や相手をきちんと意識させ、それらに応じた書き方をさせる。
- 習得した漢字を読んだり書いたりする機会を、意図的・計画的に設定することによって、児童が漢字を身近なものとして捉えることができるようにする。
- 読書タイムによる、読書習慣の定着を図るため、継続して取り組む。また、図書室の本や環境の充実を図り、読書に対する興味関心を高める。
- ドリルタイムで漢字の繰り返し学習を行い、更なる定着を図る。

☆上記の他に、我孫子市の分析による国語科の日常的な取り組みも実施していきます。

算数

- ドリルタイムを計画的に活用し、知識の定着を図る。
- 算数で学習した内容が生活や他教科など様々な場面で活用できるように、算数の良さが実感できるような工夫をする。
- 考えが誤りやすい場面を取り上げた際に、自分の考えをふり返るようにさせる。
- 形式的な処理に終わらせることなく、日常生活での経験や興味・関心と関連づけて、学習内容を取り扱うようにする。

☆上記の他に、我孫子市の分析による算数科の日常的な取り組みも実施していきます。

自尊意識・生活習慣

- 読書習慣を高めるために、今後も読書タイムを大切にしっかりと取り組む。
- 高い規範意識を継続するために、今後も『四小児童の基礎・基本』を大切に指導する。
 - ・「ハイ」という返事
 - ・あいさつ
 - ・「ありがとう」「ごめんなさい」
 - ・かさ、くつをそろえる
- 十分な睡眠が一日の活動に影響することを考え、早めの就寝を推奨し、健康で安全な生活が送れるよう、日常的に呼びかけていく。

☆ **今後も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。**